

■ 地方三筆の一人

赤星 藍城

あかほし らんじょう

出身地 宮城県角田市

1857年（安政4年）～1937年（昭和12年）

医者であるとともに、書家として名高い。六朝書道運動に共鳴、地方在住書家の筆頭格で、地方三筆の1人と評された。格調高い南画を描くことでも知られる。詩集に『五朝三領楼百絶』がある。



年譜

- 1857年 みやぎ かくた 宮城県角田市に生まれる。
- 1886年 きゅうせい はやかわ けいじろう 旧姓・早川、本名・敬次郎。
- 1890年 ていこく 帝国大学医科大学卒業。
- 1890年 よないざわ 米内沢病院長。
- 1893年 あかほし 秋田市に赤星医院を独立開業。
- 1904年 やしき ろう 屋敷内に「十声楼」をつくり、
たしな 書、詩作、南画を嗜む。
- 1908年 秋田市医師会会長。
- 1933年 となんかい 「書道研究斗南会」発足、会頭。
- 1937年 ぼつ さい 秋田市で没。80歳。